

令和元年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査 フードチェーン関係者のGAPに関する意識・意向調査

—農業者 21.4%、流通加工業者 7.5%、消費者 11.6%がGAPを知っていたと回答—

本調査は、農業者、流通加工業者及び消費者を対象として、令和元年10月下旬から同年12月下旬にかけて、農産物の生産から消費に至るフードチェーン関係者のGAPに対する意識・意向に関して調査を実施し、農業者 2,535人、流通加工業者 1,183人、消費者 1,000人から回答を得た結果である。

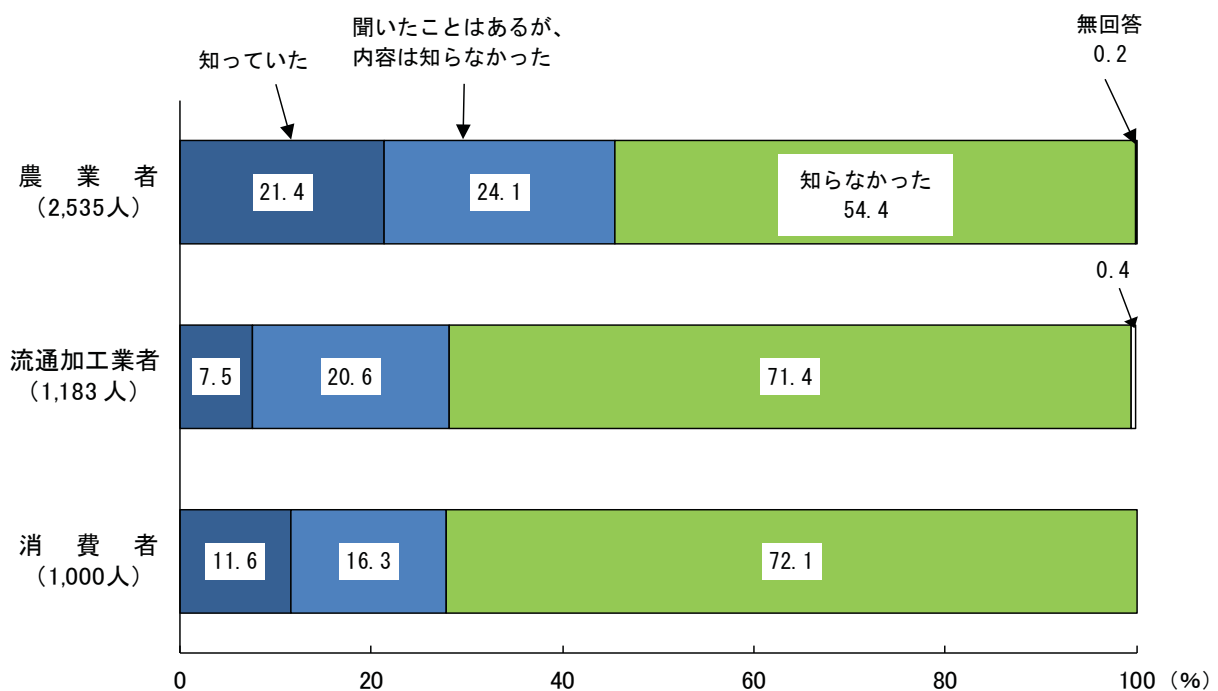
【調査結果の概要】

1 GAPの認知度

GAPについて知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合は、農業者では21.4%、流通加工業者では7.5%、消費者では11.6%となっている。

一方、「知らなかった」と回答した割合は、農業者では54.4%、流通加工業者では71.4%、消費者では72.1%となっている。

図1 GAPの認知度



注：構成割合は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計が100.0%とならない場合がある（以下同じ。）。

GAP（農業生産工程管理）とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことである。

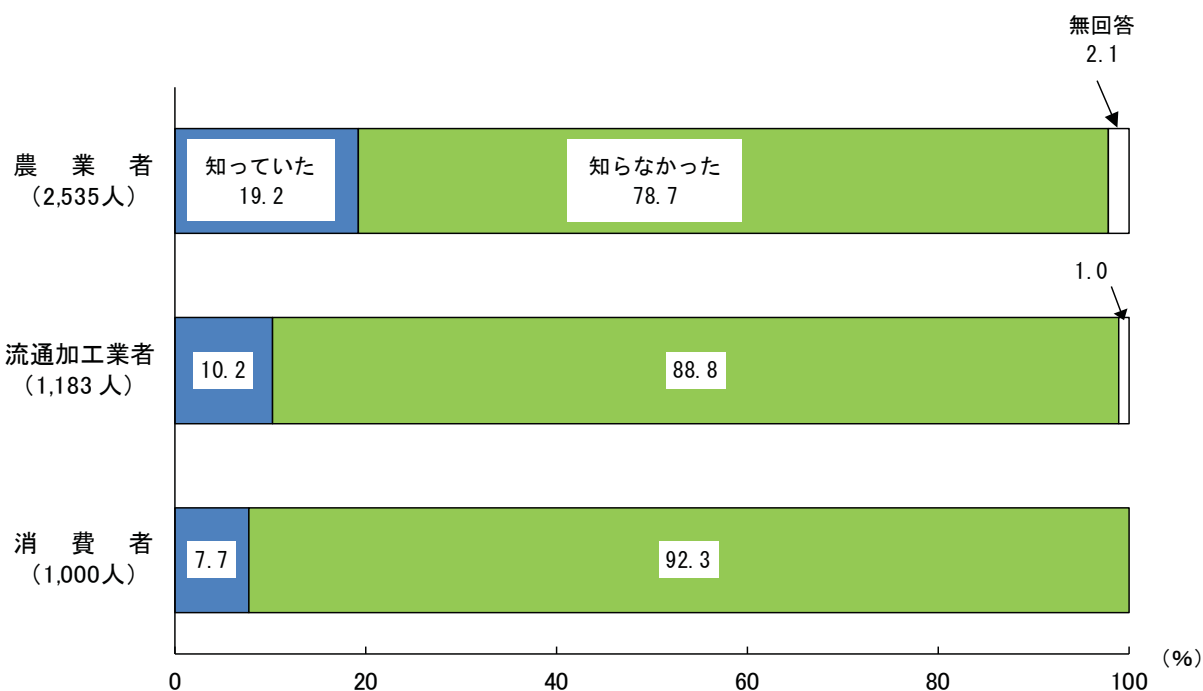
本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

2 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP

GAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合は、農業者では19.2%、流通加工業者では10.2%、消費者では7.7%となっている。

一方、「知らなかった」と回答した割合は、農業者では78.7%、流通加工業者では88.8%、消費者では92.3%となっている。

図2 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP



◎ 調査結果の主な利活用

国際水準GAPの取組、認証取得の拡大を図るための推進施策の基礎資料

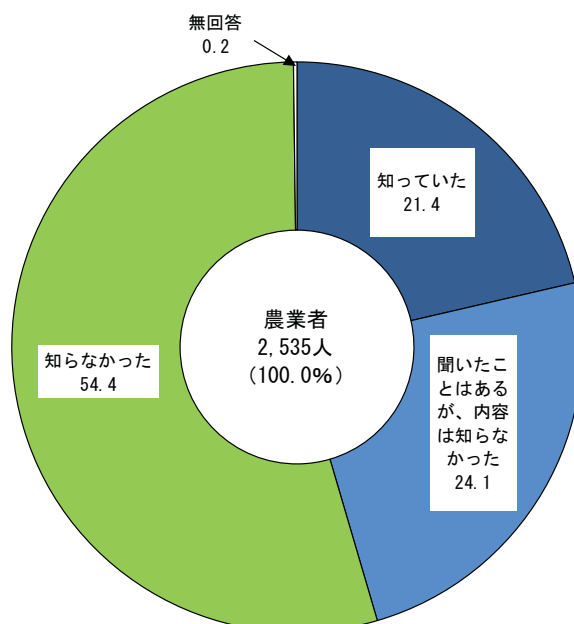
【調査結果】

1 農業者

(1) GAPの認知度

GAPについて知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が21.4%、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が24.1%であり、「知らなかった」は54.4%であった。（詳細は、統計表15ページ参照）

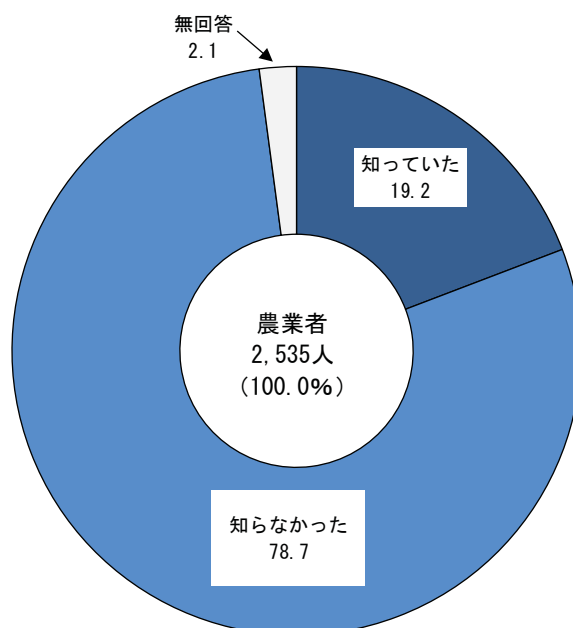
図3 GAPの認知度



(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP

民間のGAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が19.2%であり、「知らなかった」は78.7%であった。（詳細は、統計表15ページ参照）

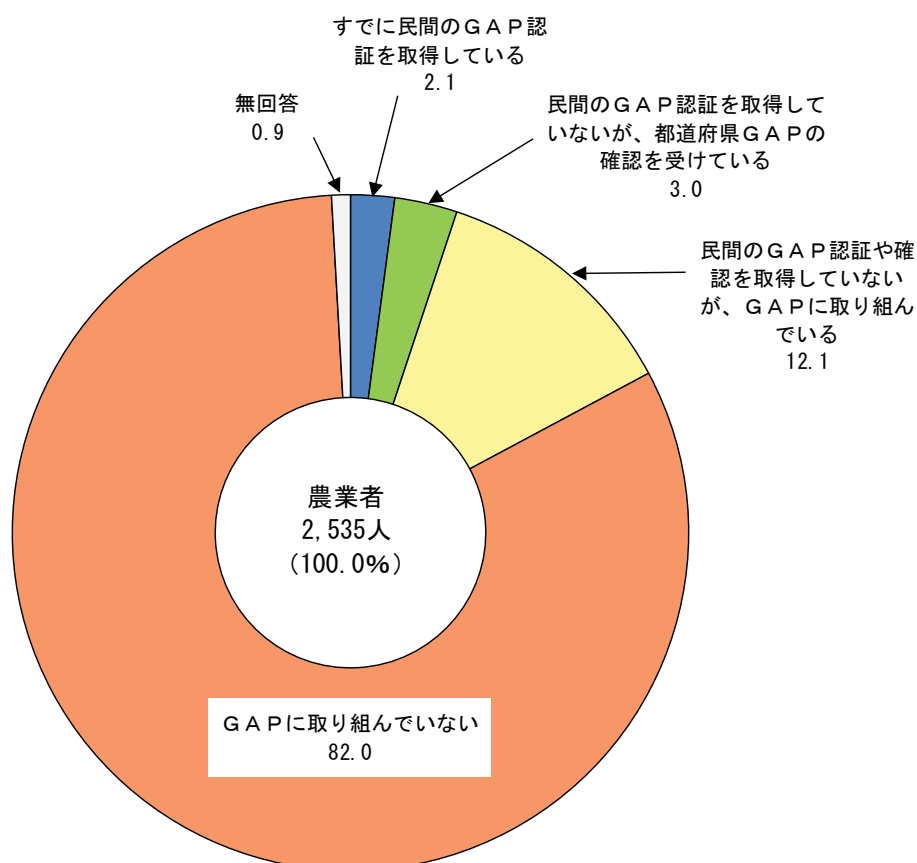
図4 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP



(3) GAPの取組・認証取得状況

現在、GAPに取り組んでいるかについて、「すでに民間のGAP認証を取得している」と回答した割合が2.1%、「民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている」が3.0%、「民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる」は12.1%であり、全体の17.2%がGAPに取り組んでいるという結果であった。（詳細は、統計表15ページ参照）

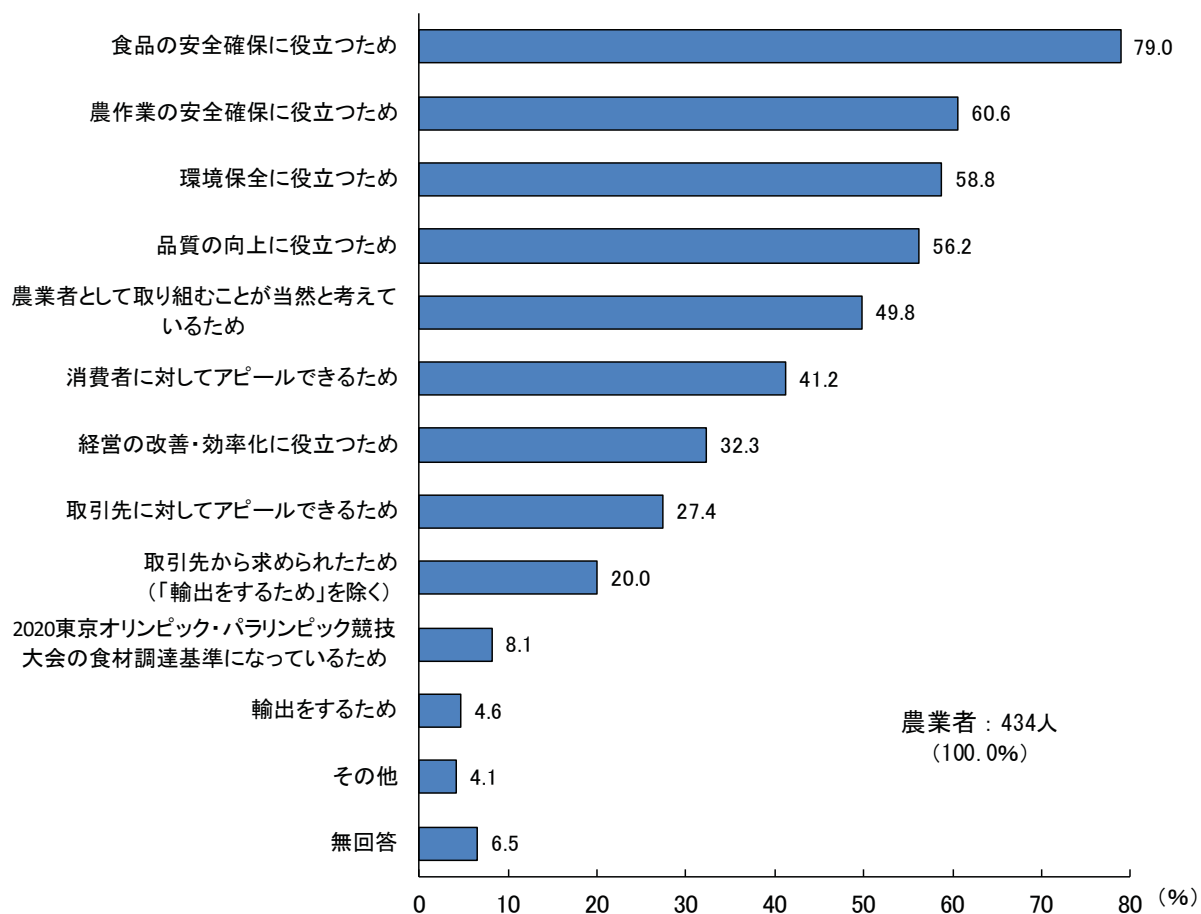
図5 GAPの取組・認証取得状況



(4) 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいる理由

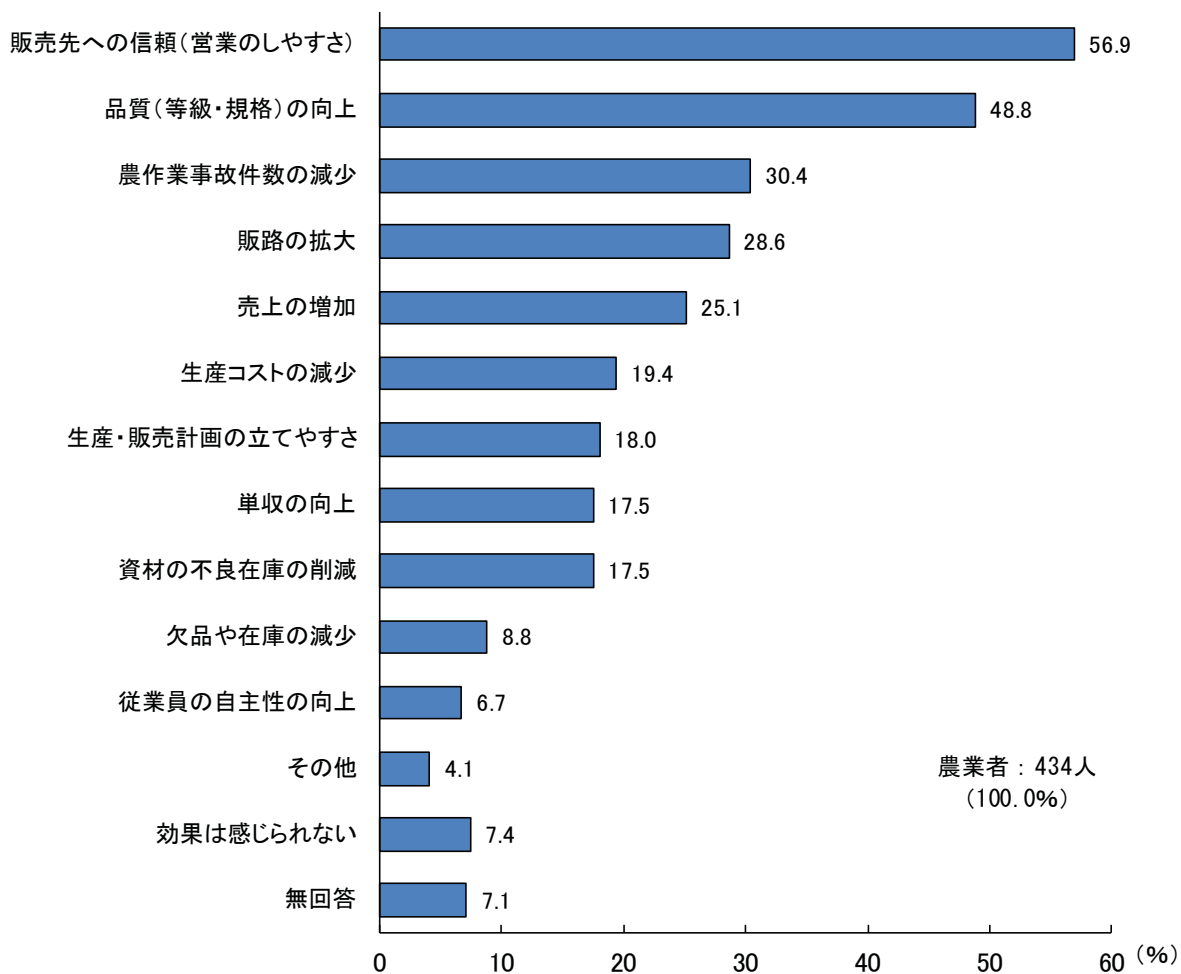
民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいる理由については、「食品の安全確保に役立つため」と回答した割合が79.0%と最も高く、次いで「農作業の安全確保に役立つため」(60.6%)、「環境保全に役立つため」(58.8%)の順であった。(詳細は、統計表16ページ参照)

図6 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいる理由(複数回答)



- (5) 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果
 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果については、「販売先への信頼（営業のしやすさ）」と回答した割合が56.9%と最も高く、次いで「品質（等級・規格）の向上」（48.8%）、「農作業事故件数の減少」（30.4%）の順であった。（詳細は、統計表17ページ参照）

図7 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果（複数回答）

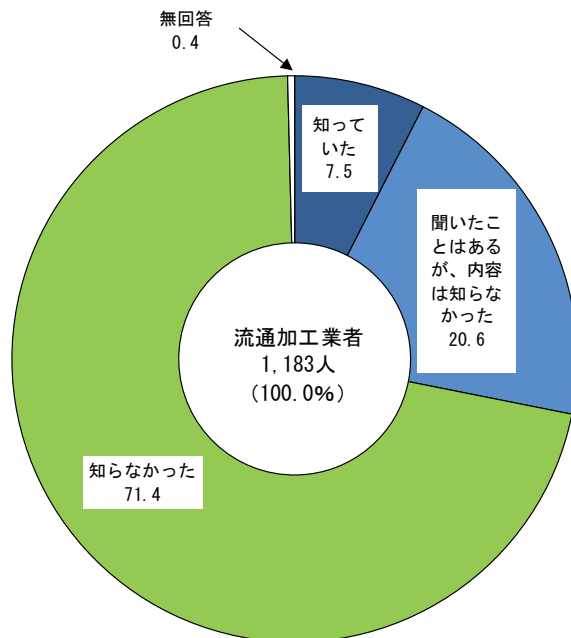


2 流通加工業者

(1) GAPの認知度

GAPについて知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が7.5%、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が20.6%であり、「知らなかった」は71.4%であった。（詳細は、統計表19ページ参照）

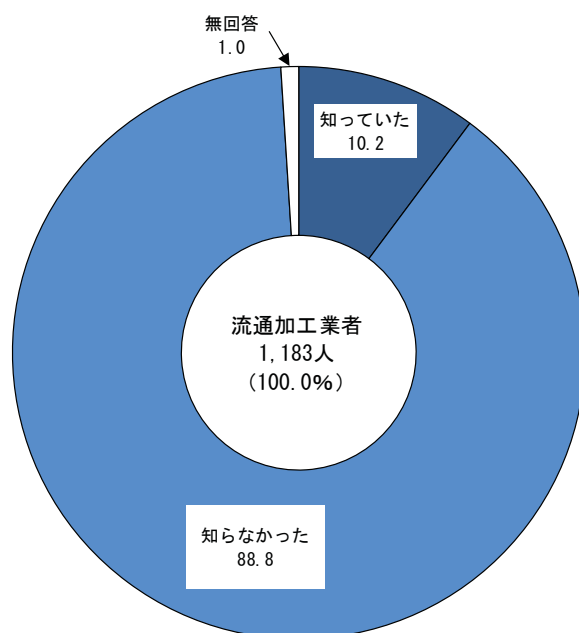
図8 GAPの認知度



(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP

GAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が10.2%であり、「知らなかった」は88.8%であった。（詳細は、統計表19ページ参照）

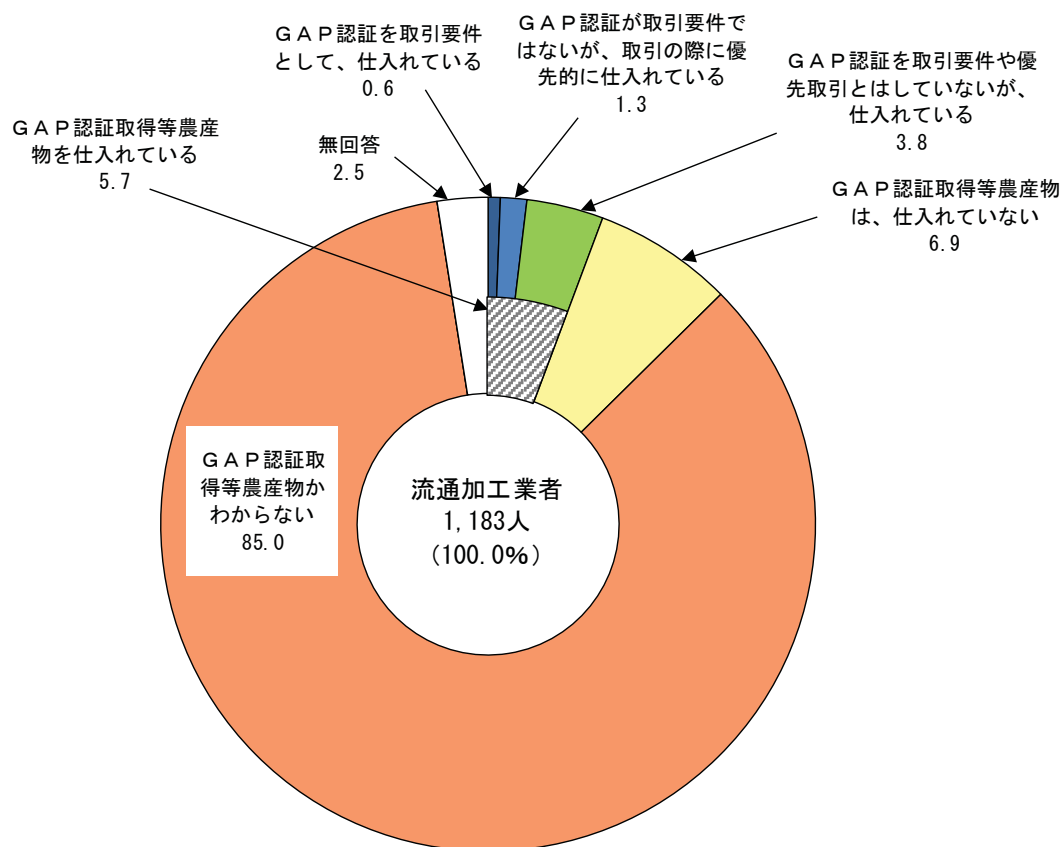
図9 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP



(3) G A P 認証取得等農産物の仕入れ状況

G A P 認証取得等農産物の仕入れ状況について、「G A P 認証取得等農産物を仕入れている」と回答した割合が 5.7%、「G A P 認証取得等農産物は、仕入れていない」が 6.9%であり、「G A P 認証取得等農産物かわからない」は 85.0%であった。（詳細は、統計表 20 ページ参照）

図 10 G A P 認証取得等農産物の仕入れ状況

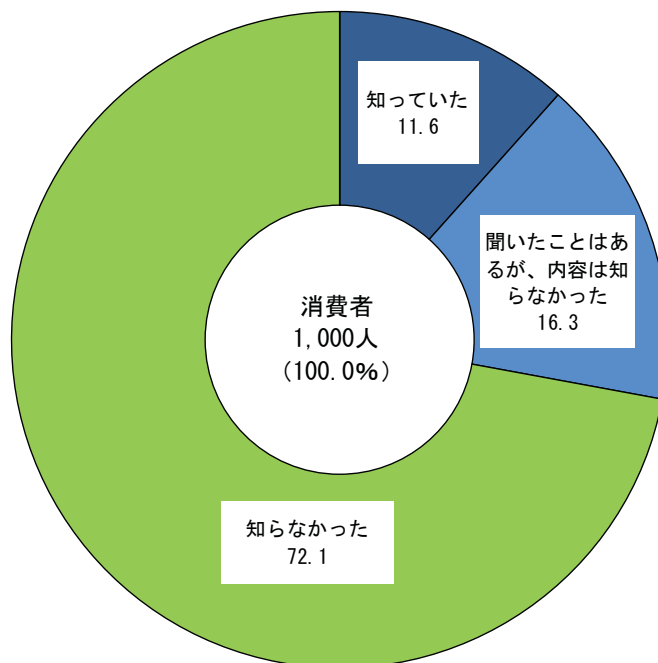


3 消費者

(1) GAPの認知度

GAPについて知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が11.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が16.3%であり、「知らなかった」は72.1%であった。（詳細は、統計表23ページ参照）

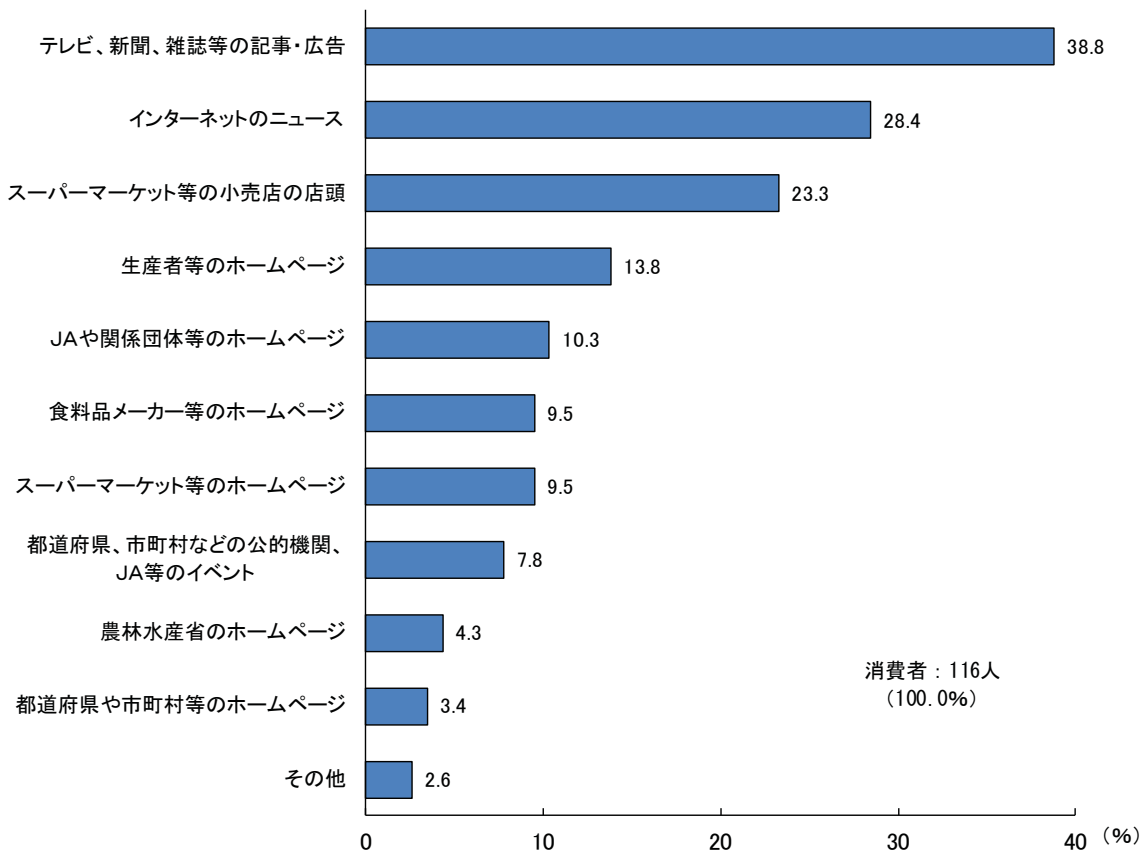
図11 GAPの認知度



(2) GAPをどのような場面や媒体で知ったか

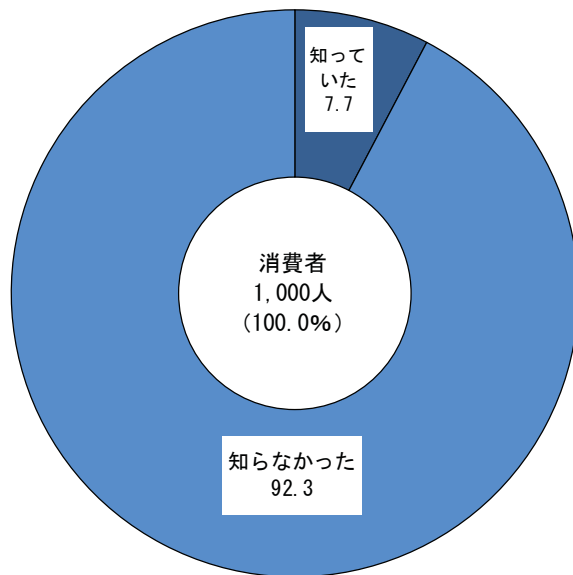
GAPをどのような場面や媒体で知ったかについて、「テレビ、新聞、雑誌等の記事・広告」と回答した割合が38.8%と最も高く、次いで「インターネットのニュース」(28.4%)、「スーパーマーケット等の小売店の店頭」(23.3%)の順であった。(詳細は、統計表24ページ参照)

図12 GAPをどのような場面や媒体で知ったか(複数回答)



- (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP
 民間のGAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の
 食材調達基準になっていることを知っていたかについて、「知っていた」と回答した
 割合が7.7%であり、「知らなかった」は92.3%であった。（詳細は、統計表24ペー
 ジ参照）

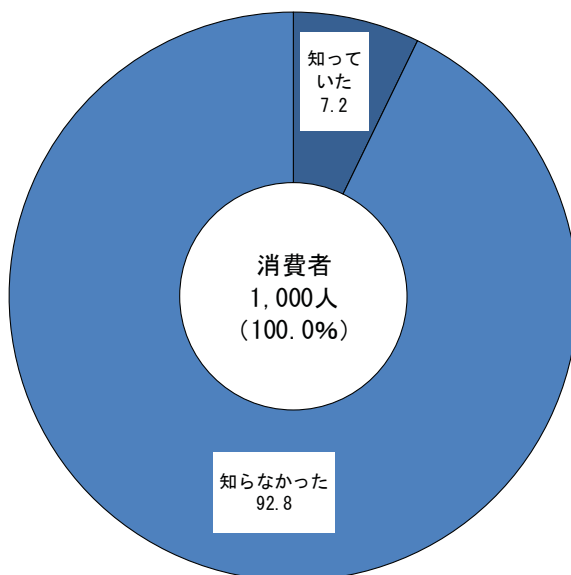
図13 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としての
 GAP



- (4) 国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、GAP認証取得
 農産物を取り扱う企業が増えていることを知っていたか

国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、GAP認証取得農
 産物を取り扱う企業が増えていることを知っていたかについて、「知っていた」と回
 答した割合が7.2%であり、「知らなかった」は92.8%であった。（詳細は、統計表
 25ページ参照）

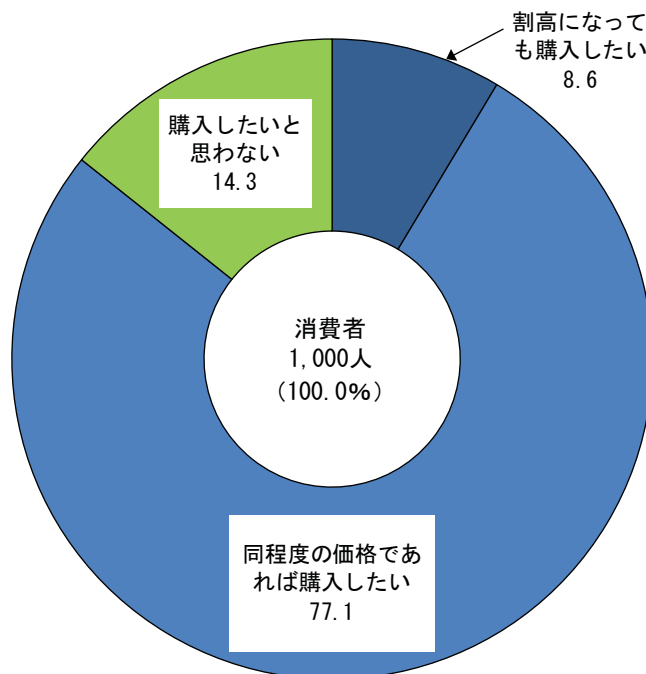
図14 国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、GAP認証取
 得農産物を取り扱う企業が増えていることを知っていたか



(5) GAP 認証取得農産物に対する購入意向

今後、GAP 認証取得農産物を購入したいかについて、「割高になっても購入したい」と回答した割合が 8.6%、「同程度の価格であれば購入したい」が 77.1%であり、「購入したいと思わない」は 14.3%であった。（詳細は、統計表 25 ページ参照）

図 15 GAP 認証取得農産物に対する購入意向



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1 農業者

- (1) G A P の認知度
 - G A P について知っていたか…………… 15
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのG A P
民間のG A P 認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達
基準になっていることを知っていたか…………… 15
- (3) G A P の取組・認証取得状況
 - 現在、G A P に取り組んでいるか…………… 15
- (4) G A P に取り組む意義
 - ア 民間のG A P 認証を取得して何年になるか…………… 15
 - イ 都道府県G A P から民間のG A P 認証へのステップアップの検討…………… 16
 - ウ 今後、民間のG A P 認証を取得する予定…………… 16
 - エ 民間のG A P 認証を取得している、または、取り組んでいる理由（複数回答）…………… 16
 - オ G A P に取り組む際に、どのような方から指導を受けたか、または何を通じて学んだか
（複数回答）…………… 17
 - カ 民間のG A P 認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果（複数回答）
…………… 17
 - キ G A P に取り組んでいない理由（複数回答）…………… 18
- (5) G A P 認証を取り巻く情勢について
 - 民間のG A P 認証を取引の要件、もしくは、優先として取り扱う流通小売業者が増えてい
ることを知っていたか…………… 18

2 流通加工業者

- (1) G A P の認知度
 - ア G A P について知っていたか…………… 19
 - イ A S I A G A P が平成30年10月にG F S I の承認を取得したことを知っていたか…………… 19
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのG A P
G A P 認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準に
なっていることを知っていたか…………… 19
- (3) G A P 認証取得農産物の取組状況
 - ア G A P に取り組んでいる生産者が増えていることを知っていたか…………… 19
 - イ 「G A P パートナー」を知っているか…………… 20

ウ	GAP認証取得等農産物の仕入れ状況	20
(4)	GAP認証の取得意向	
ア	GAP認証取得等農産物を仕入れている目的（複数回答）	20
イ	GAP認証取得等農産物の今後の仕入れ量を増やしたいか	21
ウ	今後、GAP認証取得等農産物を仕入れる予定	21
エ	GAP認証取得等農産物を仕入れない理由（複数回答）	21
(5)	HACCP義務化の取り組み	
	HACCPの取組の義務化により食材の安全性確保に向けた取組の検討	22

3 消費者

(1)	基本項目	
	家族構成について	23
(2)	GAPの認知度	
ア	GAPについて知っていたか	23
イ	GAPをどのような場面や媒体で知ったか（複数回答）	24
(3)	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP	
	民間のGAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたか	24
(4)	GAP認証取得農産物の取扱に対する評価	
ア	国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、GAP認証取得農産物を取り扱う企業が増えていることを知っていたか	25
イ	国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）が、農産物の取引に当たって、GAP認証を農産物の取引の要件としたり、優先的に取引することを評価するか	25
(5)	GAP認証取得農産物に対する購入意向	
	今後、GAP認証取得農産物を購入したいか	25

利用上の注意

- 1 回答者数は、各設問（各区分）の有効回答者数である。
- 2 回答率は、各設問（各区分）の回答者数を100.0%とする割合である。
- 3 表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が100.0%とならない場合がある。
- 4 統計表に用いた記号「－」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。
- 5 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合には、「食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査 フードチェーン関係者のGAPに関する意識・意向調査」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 農業者

(1) G A Pの認知度

G A Pについて知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	知らなかった	無回答
計	2,535	21.4	24.1	54.4	0.2
穀 物	1,651	18.1	23.9	57.8	0.2
野 菜	425	30.4	26.4	43.1	0.2
果 樹	327	23.2	22.6	54.1	—
そ の 他	132	29.5	22.0	48.5	—

注：区分については、調査の概要38ページ参照（以下、22ページまで同じ。）

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのG A P

民間のG A P認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	知らなかった	無回答
計	2,535	19.2	78.7	2.1
穀 物	1,651	15.4	82.1	2.4
野 菜	425	29.6	68.9	1.4
果 樹	327	20.8	78.0	1.2
そ の 他	132	28.0	68.9	3.0

(3) G A Pの取組・認証取得状況

現在、G A Pに取り組んでいるか

区 分	回答者数	すでに民間のG A P認証を取得している	民間のG A P認証を取得していないが、都道府県G A Pの確認を受けている	民間のG A P認証や確認を取得していないが、G A Pに取り組んでいる	G A Pに取り組んでいない	無回答
計	2,535	2.1	3.0	12.1	82.0	0.9
穀 物	1,651	1.5	2.6	10.8	84.4	0.7
野 菜	425	2.4	3.5	15.1	77.9	1.2
果 樹	327	3.4	3.7	13.1	78.3	1.5
そ の 他	132	5.3	3.8	15.9	75.0	—

(4) G A Pに取り組む意義

ア 民間のG A P認証を取得して何年になるか

(3)で「すでに民間のG A P認証を取得している」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	新規取得 (1年未満)	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上	無回答
計	52	19.2	28.8	17.3	32.7	1.9
穀 物	24	20.8	29.2	16.7	29.2	4.2
野 菜	10	20.0	30.0	—	50.0	—
果 樹	11	18.2	36.4	18.2	27.3	—
そ の 他	7	14.3	14.3	42.9	28.6	—

1 農業者（続き）

(4) GAPに取り組む意義（続き）

イ 都道府県GAPから民間のGAP認証へのステップアップの検討

（3）で「民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている」と回答した者のみ回答

区 分	回答者数	ステップアップに向けて取り組んでいる	ステップアップを検討している	検討していない	無回答
	人	%	%	%	%
計	75	9.3	30.7	57.3	2.7
穀 物	43	14.0	27.9	55.8	2.3
野 菜	15	—	26.7	66.7	6.7
果 樹	12	8.3	33.3	58.3	—
そ の 他	5	—	60.0	40.0	—

ウ 今後、民間のGAP認証を取得する予定

（3）で「民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる」と回答した者のみ回答

区 分	回答者数	民間のGAP認証の取得を検討している	民間のGAP認証の取得を検討しているが、何をしたらよいかわからない	民間のGAP認証の取得を検討していない	無回答
	人	%	%	%	%
計	307	10.7	25.4	59.9	3.9
穀 物	179	7.8	29.6	58.7	3.9
野 菜	64	18.8	20.3	56.3	4.7
果 樹	43	9.3	11.6	74.4	4.7
そ の 他	21	14.3	33.3	52.4	—

エ 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいる理由（複数回答）

（3）で「すでに民間のGAP認証を取得している」、「民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている」及び「民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる」と回答した者のみ回答

区 分	回答者数	食品の安全確保に役立つため	環境保全に役立つため	農作業の安全確保に役立つため	品質の向上に役立つため	経営の改善・効率化に役立つため	輸出をするため	取引先から求められたため（「輸出をするため」を除く）	消費者に対してアピールできるため
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	434	79.0	58.8	60.6	56.2	32.3	4.6	20.0	41.2
穀 物	246	79.7	61.8	61.4	58.1	30.5	4.5	21.5	41.9
野 菜	89	75.3	48.3	52.8	49.4	32.6	3.4	12.4	43.8
果 樹	66	83.3	63.6	65.2	59.1	34.8	7.6	21.2	40.9
そ の 他	33	75.8	54.5	66.7	54.5	39.4	3.0	27.3	30.3

区 分	取引先に対してアピールできるため	農業者として取り組むことが当然と考えているため	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっているため	その他	無回答
	%	%	%	%	%
計	27.4	49.8	8.1	4.1	6.5
穀 物	22.0	51.2	7.7	3.3	6.5
野 菜	33.7	44.9	6.7	4.5	7.9
果 樹	34.8	53.0	7.6	7.6	4.5
そ の 他	36.4	45.5	15.2	3.0	6.1

オ GAPに取り組む際に、どのような方から指導を受けたか、または何を通じて学んだか（複数回答）

（(3)で「すでに民間のGAP認証を取得している」、「民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている」及び「民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	都道府県の普及指導員	JAの営農指導員	左記以外の都道府県、市町村など公的機関の職員	取引先の従業員	GAPに取り組む農業者	「取引先の従業員」以外の民間のコンサルタント	都道府県、市町村などの公的機関、JA等が行う研修	取引先が行う研修
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	434	24.7	68.4	8.5	4.4	10.4	4.1	27.0	5.1
穀物	246	19.5	67.5	9.8	3.7	9.3	2.8	26.0	4.9
野菜	89	34.8	66.3	7.9	5.6	7.9	5.6	27.0	4.5
果樹	66	31.8	78.8	4.5	3.0	7.6	1.5	30.3	3.0
その他	33	21.2	60.6	9.1	9.1	30.3	15.2	27.3	12.1

区分	「取引先が行う研修」以外の民間が行う研修	GAPに関する専門書	農林水産省のホームページ（オンライン研修等）	「農林水産省のホームページ（オンライン研修等）」以外のインターネットの情報	テレビ、新聞、雑誌等の情報	その他	無回答
	%	%	%	%	%	%	%
計	2.5	3.2	3.2	3.9	16.8	2.3	6.0
穀物	1.6	2.8	4.1	3.7	19.9	2.4	6.1
野菜	3.4	4.5	2.2	3.4	15.7	3.4	9.0
果樹	1.5	1.5	—	6.1	9.1	1.5	4.5
その他	9.1	6.1	6.1	3.0	12.1	—	—

カ 民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果（複数回答）

（(3)で「すでに民間のGAP認証を取得している」、「民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている」及び「民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	売上の増加	販路の拡大	販売先への信頼（営業のしやすさ）	単収の向上	品質（等級・規格）の向上	資材の不良在庫の削減	農作業事故件数の減少	生産・販売計画の立てやすさ
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	434	25.1	28.6	56.9	17.5	48.8	17.5	30.4	18.0
穀物	246	24.4	26.0	55.3	18.7	52.8	17.5	32.5	19.9
野菜	89	27.0	30.3	53.9	16.9	40.4	21.3	24.7	18.0
果樹	66	30.3	33.3	65.2	16.7	47.0	12.1	28.8	15.2
その他	33	15.2	33.3	60.6	12.1	45.5	18.2	33.3	9.1

区分	従業員の自主性の向上	欠品や在庫の減少	生産コストの減少	その他	効果は感じられない	無回答
	%	%	%	%	%	%
計	6.7	8.8	19.4	4.1	7.4	7.1
穀物	7.3	8.5	21.5	4.1	5.3	7.7
野菜	5.6	10.1	16.9	5.6	11.2	7.9
果樹	4.5	7.6	16.7	4.5	6.1	4.5
その他	9.1	9.1	15.2	—	15.2	6.1

1 農業者（続き）

(4) GAPに取り組む意義（続き）

キ GAPに取り組んでいない理由（複数回答）

((3)で「GAPに取り組んでいない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	取り組むメリットがないため	指導者がいないため	栽培計画の策定作業の負担が大きいため	記帳作業の負担が大きいため	整理・整頓作業の負担が大きいため	研修受講の負担が大きいため	コストがかかるため	GAPに取り組まなくても販売できるため
計	2,079	18.3	21.8	13.2	14.2	10.9	9.2	9.8	22.0
穀 物	1,393	18.9	22.8	11.4	12.4	8.9	8.2	8.9	18.9
野 菜	331	16.6	20.5	17.5	18.7	16.0	10.9	12.7	33.8
果 樹	256	16.8	18.4	16.8	16.8	13.7	10.9	9.4	23.0
そ の 他	99	20.2	20.2	14.1	17.2	14.1	13.1	13.1	24.2

区 分	GAPについて知らなかったため	その他	無回答
計	64.5	11.8	5.1
穀 物	67.0	12.6	4.7
野 菜	55.0	10.0	6.0
果 樹	65.2	10.5	5.1
そ の 他	57.6	10.1	6.1

(5) GAP認証を取り巻く情勢について

民間のGAP認証を取引の要件、もしくは、優先として取り扱う流通小売業者が増えていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	知らない	無回答
計	2,535	14.9	80.6	4.5
穀 物	1,651	13.1	82.0	5.0
野 菜	425	16.9	79.3	3.8
果 樹	327	15.0	81.3	3.7
そ の 他	132	31.1	65.2	3.8

2 流通加工業者

(1) GAPの認知度

ア GAPについて知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	知らなかった	無回答
計	1,183	7.5	20.6	71.4	0.4
食品製造業	79	20.3	26.6	53.2	—
食品卸売業	68	14.7	27.9	55.9	1.5
食品小売業	375	6.7	21.6	71.2	0.5
外食産業	661	5.7	18.6	75.3	0.3

イ ASIAGAPが平成30年10月にGFSIの承認を取得したことを知っていたか (アで「知っていた」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	知っていた	知らなかった	無回答
計	89	31.5	68.5	—
食品製造業	16	31.3	68.8	—
食品卸売業	10	40.0	60.0	—
食品小売業	25	20.0	80.0	—
外食産業	38	36.8	63.2	—

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP

GAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	知らなかった	無回答
計	1,183	10.2	88.8	1.0
食品製造業	79	26.6	73.4	—
食品卸売業	68	23.5	76.5	—
食品小売業	375	9.9	88.8	1.3
外食産業	661	7.1	91.8	1.1

(3) GAP認証取得農産物の取組状況

ア GAPに取り組んでいる生産者が増えていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	知らない	無回答
計	1,183	9.9	89.3	0.8
食品製造業	79	26.6	73.4	—
食品卸売業	68	17.6	80.9	1.5
食品小売業	375	9.9	89.1	1.1
外食産業	661	7.1	92.3	0.6

2 流通加工業者（続き）

(3) GAP認証取得農産物の取組状況（続き） イ 「GAPパートナー」を知っているか

区 分	回答者数	知っていた	知らなかった	無回答
	人	%	%	%
計	1,183	2.3	96.3	1.4
食品製造業	79	3.8	94.9	1.3
食品卸売業	68	2.9	92.6	4.4
食品小売業	375	2.7	96.0	1.3
外食産業	661	1.8	97.0	1.2

ウ GAP認証取得等農産物の仕入れ状況

区 分	回答者数	農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件として、仕入れている	農産物を取り扱っていて、GAP認証が取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている	農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件や優先取引とはしていないが、仕入れている	農産物を取り扱っているが、GAP認証取得等農産物は、仕入れていない	農産物を取り扱っているが、GAP認証取得等農産物かわからない	農産物を取り扱っていない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
計	1,183	0.6	1.3	3.8	6.9	85.0	—	2.5
食品製造業	79	1.3	1.3	7.6	11.4	75.9	—	2.5
食品卸売業	68	—	1.5	5.9	16.2	67.6	—	8.8
食品小売業	375	0.5	0.8	4.5	7.7	84.0	—	2.4
外食産業	661	0.6	1.5	2.7	5.0	88.4	—	1.8

(4) GAP認証の取得意向

ア GAP認証取得等農産物を仕入れている目的（複数回答）

(3)のウで「農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件として、仕入れている」、「農産物を取り扱っていて、GAP認証が取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」、「農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件や優先取引とはしていないが、仕入れている」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	食品の安全性がよりいっそう高まるため	環境負荷が少ないため	よりすぐれた品質の農産物を仕入れるため	問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため	企業の社会的責任を果たすため	取引先や消費者に説明できるため	食品の輸出に際して必要であるため	販売先から求められているため
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	67	62.7	20.9	41.8	29.9	23.9	35.8	1.5	11.9
食品製造業	8	75.0	25.0	37.5	37.5	50.0	37.5	12.5	37.5
食品卸売業	5	100.0	40.0	80.0	40.0	40.0	60.0	—	20.0
食品小売業	22	50.0	22.7	31.8	13.6	22.7	22.7	—	9.1
外食産業	32	62.5	15.6	43.8	37.5	15.6	40.6	—	6.3

区 分	仕入先が認証を取得したため	その他	無回答
	%	%	%
計	16.4	13.4	9.0
食品製造業	25.0	25.0	—
食品卸売業	40.0	—	—
食品小売業	4.5	22.7	13.6
外食産業	18.8	6.3	9.4

イ GAP 認証取得等農産物の今後の仕入れ量を増やしたいか

(3)のウで「農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物は、仕入れていない」、「農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物かわからない」、「農産物は取り扱っていない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	国産のGAP認証取得等農産物の仕入れ量を増やしたい	国産か外国産を問わず、GAP認証取得等農産物の仕入れ量を増やしたい	現状維持	減らしたい	取扱いをやめたい	仕入れ量に関心はあるが、わからない	仕入れ量に関心はないので、わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	67	23.9	10.4	31.3	1.5	1.5	16.4	4.5	10.4
食品製造業	8	12.5	12.5	37.5	—	12.5	12.5	12.5	—
食品卸売業	5	40.0	40.0	20.0	—	—	—	—	—
食品小売業	22	27.3	—	22.7	4.5	—	22.7	9.1	13.6
外食産業	32	21.9	12.5	37.5	—	—	15.6	—	12.5

ウ 今後、GAP 認証取得等農産物を仕入れる予定

(3)のウで「農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物は、仕入れていない」、「農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物かわからない」、「農産物は取り扱っていない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	取引要件にして、仕入れる予定がある	取引要件とはしないが、優先的に仕入れる予定がある	仕入れる予定はない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%
計	1,087	1.9	8.9	15.2	69.4	4.6
食品製造業	69	2.9	14.5	20.3	62.3	—
食品卸売業	57	3.5	7.0	31.6	52.6	5.3
食品小売業	344	2.3	7.6	13.1	72.7	4.4
外食産業	617	1.5	9.2	14.3	69.9	5.2

エ GAP 認証取得等農産物を仕入れない理由 (複数回答)

(ウで「仕入れる予定はない」、「わからない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	数量の確保が困難であるため	仕入単価が高いため	GAP認証取得等農産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため	需要がないため	仕入れ先が取り扱っていないため	仕分け等の管理が困難なため	仕入れ方がわからないため	必要性を感じないため
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	919	4.0	8.2	39.9	15.0	19.0	6.7	44.9	34.8
食品製造業	57	10.5	12.3	36.8	21.1	19.3	15.8	28.1	42.1
食品卸売業	48	8.3	6.3	39.6	29.2	20.8	4.2	29.2	47.9
食品小売業	295	4.1	6.4	39.3	15.9	19.3	4.7	39.7	31.5
外食産業	519	2.9	8.9	40.7	12.5	18.7	7.1	51.3	34.7

区 分	その他	無回答
	%	%
計	18.1	5.9
食品製造業	21.1	12.3
食品卸売業	8.3	6.3
食品小売業	24.4	4.1
外食産業	15.0	6.2

2 流通加工業者（続き）

(5) HACCP義務化の取り組み

HACCPの取組の義務化により食材の安全性確保に向けた取組の検討

区 分	回答者数	取引要件に「GAP認証」を取り入れることを検討している	取引要件に「GAPに取組む」を取り入れることを検討している	特に、検討していない	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%
計	1,183	4.4	18.1	65.0	9.1	3.4
食品製造業	79	2.5	26.6	57.0	12.7	1.3
食品卸売業	68	7.4	16.2	69.1	4.4	2.9
食品小売業	375	4.5	14.7	64.8	13.1	2.9
外食産業	661	4.2	19.2	65.7	7.0	3.9

3 消費者

(1) 基本項目 家族構成について

区 分	回答者数	ひとり暮らし	世帯（子供あり）	世帯（子供なし）
	人	%	%	%
計	1,000	16.5	38.3	45.2
年齢別				
20 ～ 29 歳	120	31.7	14.2	54.2
30 ～ 39 歳	150	17.3	36.7	46.0
40 ～ 49 歳	177	14.7	51.4	33.9
50 ～ 59 歳	149	14.1	43.6	42.3
60 歳 以上	404	13.4	38.4	48.3
男女別				
男	480	18.3	36.3	45.4
女	520	14.8	40.2	45.0
家族構成別				
ひとり暮らし	165	100.0	—	—
世帯（子供あり）	383	—	100.0	—
世帯（子供なし）	452	—	—	100.0

(2) GAPの認知度

ア GAPについて知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	知らなかった
	人	%	%	%
計	1,000	11.6	16.3	72.1
年齢別				
20 ～ 29 歳	120	7.5	18.3	74.2
30 ～ 39 歳	150	11.3	14.0	74.7
40 ～ 49 歳	177	14.7	17.5	67.8
50 ～ 59 歳	149	12.1	13.4	74.5
60 歳 以上	404	11.4	17.1	71.5
男女別				
男	480	10.8	16.9	72.3
女	520	12.3	15.8	71.9
家族構成別				
ひとり暮らし	165	10.3	9.7	80.0
世帯（子供あり）	383	15.1	18.3	66.6
世帯（子供なし）	452	9.1	17.0	73.9

3 消費者（続き）

(2) G A Pの認知度（続き）

イ G A Pをどのような場面や媒体で知ったか（複数回答）

（アで「知っていた」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	生産者等のホームページ	食料品メーカー等のホームページ	スーパーマーケット等のホームページ	J Aや関係団体等のホームページ	都道府県や市町村等のホームページ	農林水産省のホームページ
計	116	13.8	9.5	9.5	10.3	3.4	4.3
年齢別							
20 ～ 29 歳	9	33.3	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2
30 ～ 39 歳	17	17.6	17.6	17.6	5.9	—	—
40 ～ 49 歳	26	19.2	11.5	3.8	7.7	3.8	3.8
50 ～ 59 歳	18	11.1	—	—	5.6	—	—
60 歳以上	46	6.5	2.2	8.7	13.0	2.2	4.3
男女別							
男	52	17.3	15.4	13.5	13.5	7.7	9.6
女	64	10.9	4.7	6.3	7.8	—	—
家族構成別							
ひとり暮らし	17	17.6	5.9	5.9	—	5.9	—
世帯（子供あり）	58	15.5	13.8	10.3	13.8	5.2	8.6
世帯（子供なし）	41	9.8	4.9	9.8	9.8	—	—

区 分	インターネットのニュース	スーパーマーケット等の小売店の店頭	都道府県、市町村などの公的機関、J A等のイベント	テレビ、新聞、雑誌等の記事・広告	その他
計	28.4	23.3	7.8	38.8	2.6
年齢別					
20 ～ 29 歳	22.2	44.4	—	22.2	11.1
30 ～ 39 歳	29.4	17.6	11.8	47.1	—
40 ～ 49 歳	23.1	26.9	7.7	19.2	3.8
50 ～ 59 歳	27.8	27.8	5.6	33.3	—
60 歳以上	32.6	17.4	8.7	52.2	2.2
男女別					
男	30.8	26.9	9.6	34.6	1.9
女	26.6	20.3	6.3	42.2	3.1
家族構成別					
ひとり暮らし	41.2	5.9	—	29.4	5.9
世帯（子供あり）	25.9	27.6	12.1	37.9	1.7
世帯（子供なし）	26.8	24.4	4.9	43.9	2.4

(3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのG A P

民間のG A P認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた	知らなかった
計	1,000	7.7	92.3
年齢別			
20 ～ 29 歳	120	5.8	94.2
30 ～ 39 歳	150	5.3	94.7
40 ～ 49 歳	177	8.5	91.5
50 ～ 59 歳	149	5.4	94.6
60 歳以上	404	9.7	90.3
男女別			
男	480	10.8	89.2
女	520	4.8	95.2
家族構成別			
ひとり暮らし	165	6.1	93.9
世帯（子供あり）	383	10.2	89.8
世帯（子供なし）	452	6.2	93.8

(4) G A P 認証取得農産物の取扱に対する評価

ア 国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、G A P 認証取得農産物を取り扱う企業が増えていることを知っていたか

区 分	回答者数	知っていた		知らなかった	
		人	%	人	%
計	1,000		7.2		92.8
年齢別					
20 ～ 29 歳	120		5.0		95.0
30 ～ 39 歳	150		7.3		92.7
40 ～ 49 歳	177		7.9		92.1
50 ～ 59 歳	149		3.4		96.6
60 歳 以上	404		8.9		91.1
男女別					
男	480		9.8		90.2
女	520		4.8		95.2
家族構成別					
ひとり暮らし	165		5.5		94.5
世帯（子供あり）	383		9.4		90.6
世帯（子供なし）	452		6.0		94.0

イ 国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）が、農産物の取引に当たって、G A P 認証を取引の要件としたり、優先的に取引することを評価するか

区 分	回答者数	評価する		評価しない		わからない、どちらともいえない	
		人	%	人	%	人	%
計	1,000		47.0		5.0		48.0
年齢別							
20 ～ 29 歳	120		46.7		5.0		48.3
30 ～ 39 歳	150		42.7		9.3		48.0
40 ～ 49 歳	177		41.2		6.8		52.0
50 ～ 59 歳	149		42.3		4.7		53.0
60 歳 以上	404		53.0		2.7		44.3
男女別							
男	480		43.5		7.7		48.8
女	520		50.2		2.5		47.3
家族構成別							
ひとり暮らし	165		43.6		5.5		50.9
世帯（子供あり）	383		54.3		4.2		41.5
世帯（子供なし）	452		42.0		5.5		52.4

(5) G A P 認証取得農産物に対する購入意向

今後、G A P 認証取得農産物を購入したいか

区 分	回答者数	割高になっても購入したい		同程度の価格であれば購入したい		購入したいと思わない	
		人	%	人	%	人	%
計	1,000		8.6		77.1		14.3
年齢別							
20 ～ 29 歳	120		8.3		74.2		17.5
30 ～ 39 歳	150		6.0		74.0		20.0
40 ～ 49 歳	177		8.5		72.9		18.6
50 ～ 59 歳	149		8.7		73.2		18.1
60 歳 以上	404		9.7		82.4		7.9
男女別							
男	480		9.2		72.1		18.8
女	520		8.1		81.7		10.2
家族構成別							
ひとり暮らし	165		6.1		73.9		20.0
世帯（子供あり）	383		10.4		80.7		8.9
世帯（子供なし）	452		8.0		75.2		16.8

【調査事項】

令和元年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査 フードチェーン関係者のGAPに関する意識・意向調査 (農業者)

【御記入の仕方】

- 回答欄に選択肢の番号を記入してください。

※ GAP(農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

「Goodな農業！GAP-info」

URL:<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html>

<GAPの認知度>

【全員が回答してください。】

問1 あなたは、本調査以前からGAPについて知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らなかった
- 3 知らなかった

回答

「TRY-GAP!!」

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/try-gap.html>

<2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP>

【全員が回答してください。】

問2 あなたは、民間のGAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

回答

<GAPの取組・認証取得状況>

【全員が回答してください。】

問3 現在、GAPに取り組んでいますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 すでに民間のGAP認証を取得している 問4へ
- 2 民間のGAP認証を取得していないが、都道府県GAPの確認を受けている。 問5へ
- 3 民間のGAP認証や確認を取得していないが、GAPに取り組んでいる 問6へ
- 4 GAPに取り組んでいない 問10へ

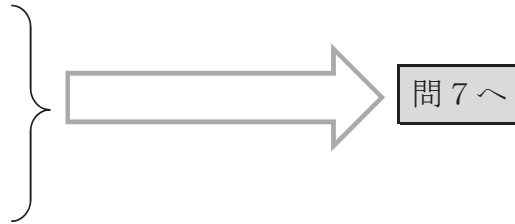
回答

<GAPに取り組む意義>

問4 問3で「1」と回答した方にお聞きします。
現在、民間のGAP認証を取得して何年になりますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 新規取得（1年未満）
- 2 1年以上～3年未満
- 3 3年以上～5年未満
- 4 5年以上



回答

問5 問3で「2」と回答した方にお聞きします。
あなたは、都道府県GAPから、民間のGAP認証へのステップアップを検討していますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 ステップアップに向けて取り組んでいる
- 2 ステップアップを検討している
- 3 検討していない

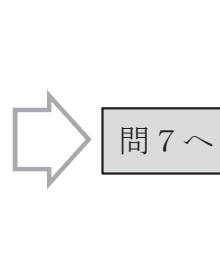


回答

問6 問3で「3」と回答した方にお聞きします。
今後、民間のGAP認証を取得する予定はありますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 民間のGAP認証の取得を検討している
- 2 民間のGAP認証の取得を検討しているが、何をしたらよいかわからない
- 3 民間のGAP認証の取得を検討していない



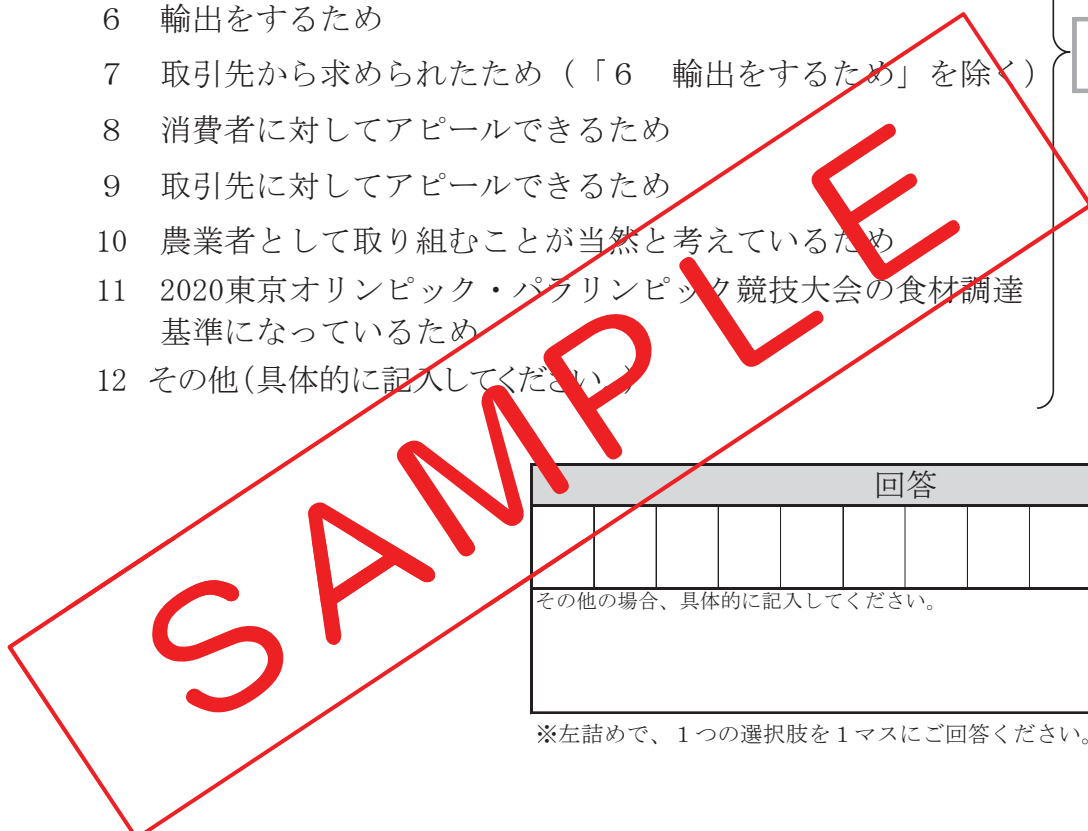
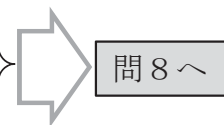
回答

問7

問3で「1」から「3」のいずれかを回答した方にお聞きします。
民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいる理由は何ですか。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 食品の安全確保に役立つため
- 2 環境保全に役立つため
- 3 農作業の安全確保に役立つため
- 4 品質の向上に役立つため
- 5 経営の改善・効率化に役立つため
- 6 輸出をするため
- 7 取引先から求められたため（「6 輸出をするため」を除く）
- 8 消費者に対してアピールできるため
- 9 取引先に対してアピールできるため
- 10 農業者として取り組むことが当然と考えているため
- 11 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっているため
- 12 その他(具体的に記入してください)



回答									

その他の場合、具体的に記入してください。

※左詰め、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

問8

問3で「1」から「3」のいずれかを回答した方にお聞きします。

あなたは、GAPに取り組む際に、どのような方から指導を受けましたか。または何を通じて学びましたか。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 都道府県の普及指導員
- 2 JAの営農指導員
- 3 1、2以外の都道府県、市町村など公的機関の職員
- 4 取引先の従業員
- 5 GAPに取り組む農業者
- 6 4以外の民間のコンサルタント
- 7 都道府県、市町村などの公的機関、JA等が行う研修
- 8 取引先が行う研修
- 9 8以外の民間が行う研修
- 10 GAPに関する専門書
- 11 農林水産省のホームページ（オンライン研修等）
- 12 11以外のインターネットの情報
- 13 テレビ、新聞、雑誌等の情報
- 14 その他（具体的に記入してください。）



問9へ



回答											
その他の場合、具体的に記入してください。											

※左詰め、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

問9

問3で「1」から「3」のいずれかを回答した方にお聞きします。

民間のGAP認証を取得している、または、取り組んでいることによる効果は何ですか。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 売上の増加
- 2 販路の拡大
- 3 販売先への信頼（営業のしやすさ）
- 4 単収の向上
- 5 品質（等級・規格）の向上
- 6 資材の不良在庫の削減
- 7 農作業事故件数の減少
- 8 生産・販売計画の立てやすさ
- 9 従業員の自主性の向上
- 10 欠品や在庫の減少
- 11 生産コストの減少
- 12 その他（具体的に記入してください。）
- 13 効果は感じられない



問11へ

回答									
その他の場合、具体的に記入してください。									

※左詰めで、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

問10

問9で「1」を回答した方にお聞きします。

GAPに取り組んでいない理由は何ですか。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 取り組むメリットがないため
- 2 指導者がいないため
- 3 栽培計画の策定作業の負担が大きいため
- 4 記帳作業の負担が大きいため
- 5 整理・整頓作業の負担が大きいため
- 6 研修受講の負担が大きいため
- 7 コストがかかるため
- 8 GAPに取り組まなくても販売できるため
- 9 GAPについて知らなかったため
- 10 その他（具体的に記入してください。）



問11へ

回答									
その他の場合、具体的に記入してください。									

※左詰めで、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

<GAP認証を取り巻く情勢について>

【全員が回答してください。】

問11 あなたは、民間のGAP認証を取引の要件、もしくは、優先として取り扱う流通小売業者が増えていることは、知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らない

回答

SAMPLE

令和元年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査
フードチェーン関係者のGAPに関する意識・意向調査
(流通加工業者)

【御記入の仕方】

- 回答欄に選択肢の番号を記入してください。

※ GAP(農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

「Goodな農業！GAP-info」

URL:<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html>

＜GAPの認知度＞

問1 貴社では、本調査以前からGAPについて知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
2 聞いたことはあるが内容は知らなかった
3 知らなかった

問2へ

問3へ

回答

問2 問1で「1」を回答した方にお聞きします。

日本産の規格であるASIAGAPが平成30年10月にGFSIの承認を取得したことを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
2 知らなかった

問3へ

回答

※GFSI(世界食品安全イニシアチブ)：世界的に展開する食品企業が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化のため、協働して食品安全管理規格の承認等を行う民間団体のことです。

＜2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP＞

【全員が回答してください。】

問3 GAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
2 知らなかった

問4へ

回答

<GAP認証取得農産物の取組状況>

【全員が回答してください。】

問4 GAPに取り組んでいる生産者が増えていることを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らない



回答

問5 「GAPパートナー」を知っていますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった



回答

「GAPパートナー」

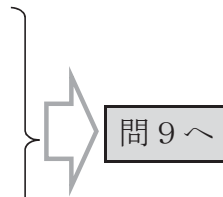
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.htm#03>

問6 貴社では、GAP認証取得等農産物[※]を仕入れていますか。

ここでいう農産物とは、米、麦、野菜、果樹、茶、きのこをいいます。畜産物、花木等は含みません。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件として、仕入れている
- 2 農産物を取り扱っていて、GAP認証が取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている
- 3 農産物を取り扱っていて、GAP認証を取引要件や優先取引とはしていないが、仕入れている
- 4 農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物は、仕入れていない
- 5 農産物は取り扱っているが、GAP認証取得等農産物かわからない
- 6 農産物は取り扱っていない



回答

※ GAP認証取得等農産物とは、GAP認証（GLOBALG. A. P.、ASIAGAP、JGAP）を取得した農場や、都道府県GAP、GAPチャレンジシステムに取り組んでいる農場において生産された農産物のことです。

<GAP認証の取得意向>

問7 問6で「1」から「3」のいずれかを回答した方にお聞きします。
貴社でGAP認証取得等農産物を仕入れている目的等を教えてください。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 食品の安全性がよりいっそう高まるため
- 2 環境負荷が少ないため
- 3 よりすぐれた品質の農産物を仕入れるため
- 4 問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため
- 5 企業の社会的責任を果たすため
- 6 取引先や消費者に説明できるため
- 7 食品の輸出に際して必要であるため
- 8 販売先から求められているため
- 9 仕入先が認証を取得したため
- 10 その他（具体的に記入してください。）



回答									
その他の場合、具体的に記入してください									

※左詰め、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

問8 問6で「1」から「3」のいずれかを回答した方にお聞きします。
貴社では、GAP認証取得等農産物に関する今後の仕入れ量を増やしたいですか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 国産のGAP認証取得等農産物の仕入れ量を増やしたい
- 2 国産か外国産を問わず、GAP認証取得等農産物の仕入れ量を増やしたい
- 3 現状維持
- 4 減らしたい
- 5 取扱いをやめたい
- 6 仕入れ量に関心はあるが、わからない
- 7 仕入れ量に関心はないので、わからない



回答

問9 問6で「4」から「6」のいずれかを回答した方にお聞きします。
貴社では、今後、GAP認証取得等農産物を仕入れる予定はありますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 取引要件にして、仕入れる予定がある
- 2 取引要件とはしないが、優先的に仕入れる予定がある
- 3 仕入れる予定はない
- 4 わからない



回答

問10

問9で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。
貴社でGAP認証取得等農産物を仕入れない理由をお教えてください。

該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 数量の確保が困難であるため
- 2 仕入単価が高いため
- 3 GAP認証取得等農産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため
- 4 需要がないため
- 5 仕入れ先が取り扱っていないため
- 6 仕分け等の管理が困難なため
- 7 仕入れ方がわからないため
- 8 必要性を感じないため
- 9 その他（具体的に記入してください。）



問11へ

回答									
その他の場合、具体的に記入してください。									

※左記めで、1つの選択肢を1マスにご回答ください。

<HACCP義務化の取組み>
【全員が回答してください。】

問11 HACCPの取組が義務化になりましたが、今後、食材の安全性確保に向けての取組を検討していますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 取引要件に「GAP認証」を取り入れることを検討している
- 2 取引要件に「GAPに取り組む」を取り入れることを検討している
- 3 特に、検討していない
- 4 その他（具体的に記入してください。）

回答

その他の場合、具体的に記入してください。

※ HACCPの取組の義務化とは、平成30年6月改正の食品衛生法で、原則として全ての事業者が「HACCPに沿った衛生管理」を行うこととされています。

フードチェーン関係者のGAPに関する意識・意向調査

(消費者)

※ GAP（農業生産工程管理）とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

「Goodな農業！GAP-info」

URL：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html>

<基本項目>

問1 あなたの家族構成（現在、同居している家族の構成）を教えてください。
該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 世帯（子供あり）
- 3 世帯（子供なし）

<GAPの認知度>

問2 あなたは、本調査以前からGAPについて知っていましたか。
該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた (→ 問3へ)
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らなかった (→ 問4へ)
- 3 知らなかった (→ 問4へ)

※ GAP（農業生産工程管理）には、第三者である審査会社が審査を行い、農業者がGAPに正しく取り組んでいることを確認・証明する「GAP認証」という仕組みがあります。

問3 問2で「1」と回答した方にお聞きします。

あなたは、GAPをどのような場面や媒体で知りましたか。
該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 生産者等のホームページ
- 2 食料品メーカー等のホームページ
- 3 スーパーマーケット等のホームページ
- 4 JAや関係団体等のホームページ
- 5 都道府県や市町村等のホームページ
- 6 農林水産省のホームページ

- 7 インターネットのニュース
- 8 スーパーマーケット等の小売店の店頭
- 9 都道府県、市町村などの公的機関、J A等のイベント
- 10 テレビ、新聞、雑誌等の記事・広告
- 11 その他（具体的に記入してください。）

<2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAP>

問4 あなたは、民間のGAP認証取得等が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっていることを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

<GAP認証取得農産物の取扱に対する評価>

問5 あなたは、国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）において、GAP認証取得農産物を取り扱う企業が増えていることを知っていましたか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

「GAPパートナー」

<http://www.maff.go.jp/s/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html#03>

問6 あなたは、国内の食品関係企業（食品製造・卸売・小売・外食等）が、農産物の取引に当たって、GAP認証を取引の要件としたり、優先的に取引することについて評価しますか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 評価する
- 2 評価しない
- 3 わからない、どちらともいえない

<GAP認証取得農産物に対する購入意向>

問7 あなたは今後、GAP認証取得農産物を購入したいですか。

該当する選択肢を1つ選択してください。

- 1 割高になっても購入したい
- 2 同程度の価格であれば購入したい
- 3 購入したいと思わない

【調査の概要】

1 調査の目的

農産物の生産から消費に至るフードチェーン関係者（農業者、流通加工業者及び消費者）のGAPの認知度、GAP取組・認証取得状況等の意向を把握し、国際水準GAPの取組、GAP認証取得の拡大を図るための推進施策の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の対象

(1) 農業者

2015年農林業センサスにおける農業経営体のうち、次表の農産物販売金額1位の部門に該当する農業経営体を対象とした。

区 分	対象とした農産物販売金額1位の部門
穀 物	稲作、麦類作
野 菜	露地野菜、施設野菜
果 樹	果樹類
その他	雑穀・いも類・豆類、工芸農作物

(2) 流通加工業者

事業所母集団データベースに登録されている事業所のうち、次表の日本標準産業分類区分に該当する農産物の取扱いがある事業所を対象とした。

区 分	対象とした日本標準産業分類（中分類）
食品製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業
食品卸売業	飲食料品卸売業、各種商品卸売業
食品小売業	飲食料品小売業、各種商品小売業
外食産業	飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業

(3) 消費者

農林水産省が契約した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が保有するモニター（民間事業者が提携する他の事業者が保有するモニターも含む。）のうち、全国の20歳以上の者を対象とした。

3 調査事項

GAPの認知度、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準としてのGAPの認知度、GAP取組・認証取得状況、GAP認証取得農産物の取扱状況等

4 調査期間

本調査は、令和元年10月下旬から同年12月下旬までの間に実施した。

5 調査方法

(1) 農業者及び流通加工業者

民間事業者が調査票を郵送し、調査対象が記入した調査票を郵送又はオンラインにより回収する方法により実施した。

(2) 消費者

民間事業者が保有するモニターを対象に、Web調査により実施した。

6 集計方法

各項目とも、単純に積み上げ集計した。

7 調査対象数、有効回答数及び有効回答率

(1) 農業者

2015年農林業センサスの2(1)の区分別の経営体構成割合に基づき配分した調査対象数、有効回答数及び有効回答率は次のとおりである。

単位：経営体、%

区分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
農業者	4,000	2,535	63.4
穀物	2,523	1,651	65.4
野菜	710	425	59.9
果樹	536	327	61.0
その他	231	132	57.1

(2) 流通加工業者

事業所母集団データベースの2(2)の区分別の事業所構成割合に基づき配分した調査対象数、有効回答数及び有効回答率は次のとおりである。

単位：事業所、%

区分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
流通加工業者	4,000	1,183	29.6
食品製造業	268	79	29.5
食品卸売業	252	68	27.0
食品小売業	1,304	375	28.8
外食産業	2,176	661	30.4

(3) 消費者

2015年国勢調査の男女別年齢階層別の人口構成割合（20歳以上の人口に対する男女別年齢階層の比率）に基づき配分した調査対象数（有効回答数）は次のとおりである。

単位：人

区分	計	男	女
消費者	1,000	480	520
20～29歳	120	61	59
30～39歳	150	76	74
40～49歳	177	89	88
50～59歳	149	74	75
60歳以上	404	180	224

8 用語の解説

GAP（農業生産
工程管理）

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことである。

GAP認証

GAP認証とは、第三者である審査会社が審査を行い、農業者がGAPに正しく取り組んでいることを確認・証明する仕組みのことである。

GFSI（世界食
品安全イニシアチ
ブ）

世界的に展開する食品企業が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化のため、協働して食品安全管理規格の承認等を行う民間団体のことである。

GAPパートナー

GAP認証農産物を取り扱う意向を有している事業者のことである。

GAP認証取得等
農産物

民間のGAP認証や都道府県GAPの確認を受けている農場で生産された農産物のことであり、本調査でいう農産物とは、米、麦、野菜、果樹、茶、きのこをいう。

HACCP

原材料の受入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入など危害要因を分析（HA）した上で、危害の防止につながる特に重要な工程（CCP）を継続的に監視・記録する工程管理システムである。

なお、平成 30 年 6 月改正の食品衛生法では、原則として全ての事業者が「HACCP に沿った衛生管理」を行うこととされている。

9 令和元年台風 19 号の影響

「令和元年台風 19 号に伴う災害にかかる災害救助法の適用について【第 7 報】」（内閣府（防災担当）令和元年 10 月 14 日公表）における災害救助法の適用を受けた 13 都県（6 特別区、309 市町村）に所在する農業者及び流通加工業者は調査対象とせず、新たに当該地域を除く都道府県から、調査対象を選定し直した。

このことから、災害救助法の適用を受けていない地域の調査対象は、令和元年 10 月下旬から 11 月下旬まで、上記の理由により選定し直した調査対象は、令和元年 11 月下旬から 12 月下旬までの間に調査を実施した。

10 調査における留意点

本調査は、調査対象の意識、意向等を把握することを目的に実施したものであり、調査対象から得られた回答のうち、有効な回答を全国値として推計したものではないことから、利用に当たっては留意する必要がある。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

- この結果の分野別分類は「農林水産行政等に対する意識・意向調査」に分類しています。

【 <https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

【関係リンク】

- 農業生産工程管理（GAP）に関する情報に関するページ
：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞農業生産工程管理（GAP）

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html> 】

お問合せ先

◎本調査結果について

農林水産省 生産局 農業環境対策課
生産工程管理班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：4852
（直通）03-6744-2188

F A X： 03-3502-0869

◎食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 民間委託推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3591
（直通）03-6744-2229

F A X： 03-3501-9644

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3589
（直通）03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644